

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 8年 3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第 69 号 令和 8 年度松戸市一般会計予算 議案第 70 号 令和 8 年度松戸市国民健康保険特別会計予算 議案第 71 号 令和 8 年度松戸市松戸競輪特別会計予算 議案第 74 号 令和 8 年度松戸市介護保険特別会計予算 議案第 75 号 令和 8 年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 議案第 76 号 令和 8 年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 77 号 令和 8 年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 78 号 令和 8 年度松戸市水道事業会計予算</p>
議員名・会派名等	公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>以下の討論をもって、態度決定に至った理由といたします</p> <p>議案第 69 号、令和 8 年度松戸市一般会計予算、議案第 70 号から第 77 号までの特別会計予算及び議案第 78 号から第 80 号までの企業会計予算について、会派を代表して委員長報告の通り、賛成の立場から討論を行います。</p> <p>さて、国においては 2 月の衆議院選挙の圧倒的勝利を受けて第 2 次高市政権がスタート致しました。「強い日本」「強い経済」を掲げ責任ある積極財政を全面に、安全保障強化や技術立国の推進、エネルギー安定供給を重視し、規制改革と地方創生を進めつつ、伝統や国家観を重んじる政策を全面に打ち出しています。しかし、急速な円安による輸入物価の上昇や家計負担の増大に直面する中において、エネルギー価格の高騰、実質賃金の伸び悩み、人手不足や少子高齢化も深刻な状況であり国民生活を守る対策を的確に施す必要があります。</p> <p>今月、3 月 11 日はあの東日本大震災から 15 年の月日が流れましたが、多くの命が失われた心の喪失感は何年たっても癒やされるものではありません。災害による犠牲者を一人もださないという決意を私たちは新たにする必要があります。首都直下地震や南海トラフ地震、気候変動の影響で雨の降り方は激甚化・集中化・広域化しております。そして、老朽化する上下水道などインフラ、公共施設の建て替え問題も大きく横たわっております。</p> <p>更には、2 月の 28 日に開始された米国、イスラエルによるイラン攻撃及びそれに伴う紛争は、日本に対してエネルギーと物価への影響、電気・ガス代、ガソリン代の更なる上昇を招き、今般の政府による物価高騰対策が相殺される懸念が出てきております。本市にお</p>

いては、先行きが不透明な時代、さまざまな課題が複合化するなかにおいて、市民生活を守り抜くとの決意で市政運営にご努力ください。

さて、このたび上程された令和8年度一般会計予算は、前年度比0.2%（4億7千万）減の1945億1千万円、歳入の柱となる市税は4年連続過去最大を更新する792億3600万円となっています。「暮らし応援×未来投資予算」をテーマに、物価高騰対策・防犯・防災対策など暮らしを守る政策とクリーンセンターなど生活に直結するインフラ整備・更新などの街づくり、松戸駅周辺の整備、常盤平地区の街づくりなどへの投資、財政改革により財政調整基金の8年度末残高は40億5千万円を確保しました。そして、市の財政予算確保策として導入した「インセンティブ予算制度」については、予算を削るという考えから「予算を生み出す」という考えた方の転換は各部局のマネジメントや工夫で新規・既存事業の拡大に活用できる制度であり、職員のモチベーションアップに繋がる方式であります。

また、サンセット方式や受益者負担の適正化などにも着手するなど財政改革を推進する方針は、今後の財政健全化に向けて評価するところです。一方で、予算の削減が目的化してしまう懸念がありますので、市民の目線でその声によく耳を傾け「何のため」の事業か、常に原点に返りながら、必要な事業には予算を掛けるなど、多くの方にご評価いただけるようなお取り組みをお願い申し上げます。今後も財政状況の厳しい時代が続きます。また、かつてない世界情勢の不安定な状況が懸念されますので、引き続き市長を先頭に職員一丸となって弾力性があり温かみのある財政運営をお願いするところです。

それでは以下、一般会計予算案等に対する賛成理由を申し述べます。

まず、

本予算は“生活者の目線”に立ち、子育て支援の充実、高齢者・障がい者福祉の推進、防災・減災対策の強化など、市民の命と暮らしを守る施策に重点を置いた編成となっている点を高く評価いたします。

まず、子育て支援についてであります。子どもを安心して産み育てられる環境の整備は、本市の持続的発展に不可欠であります。小中学校給食費の支援では、アレルギー等児童生徒への弁当代補助、長期欠席者への支援を含めて丁寧に対応していただいております。小学校全額無償化・中学校は軽減及び第3子以降全額無償化の実施となります。引き続き、安定した給食、おいしい給食並びに本市特有の枝豆給食など地産地消の食育の拡充をお願いします。

また、幼稚園・保育所・小学校連携関係事業の「わくわく！小学校体験ルーム」については、少しでも、その不安感を和らげる小学校接続の課題に向き合う事業です。ほぼ予算を使うことなく、以前からの課題であった小1プロブレムや近年の大きい課題であるところ

の不登校対策の一助になるものと考えます。未就学児童にとって小学校入学は大きなチャレンジです。来年度は園を増やすということですが、利用する学校・教室の環境整備の充実、衛生的なトイレ改修、エアコンの設置、未就学児に配慮した施設整備を望みます。また、通路や教室のアプローチも含めて子どもがわくわくするような可愛い装飾なども施せるよう予算をお願いしたいと思います。

次に、放課後子ども総合プラン事業においては、年々、利用児童が増加している現状がありますので今後も予算の確保は必要です。保育所・幼稚園の給食費支援については家計負担の軽減、また、ミドルリーダー育成の事業は質の確保につながります。各種事業の推進をお願い申し上げます。

次に、いじめ相談事業について、SNSを使った見えにくい陰湿な事案が発生しています。国における 2025 年最新の統計では、小中高生の自殺者は 532 人過去最高を更新しており、原因は複数の要因が重なるケースが多いようですが LINE 相談があることで救われる命があると思います。相談員が 2 人から 1 人に体制になることは理解しますが、引き続きの事業実施をお願い致します。

以上、子育て支援策の充実、保護者の経済的・心理的負担の軽減につながるものであり、引き続き切れ目のない支援の強化を求めるものであります。

次に、

福祉施策について申し上げます。高齢化が進む中、地域で安心して暮らし続けられる体制の構築は喫緊の課題であります。特に、支援を必要とする方に行政側から働きかけるアウトリーチ型支援の推進は、制度の狭間にある方々を支える重要な取り組みであります。

予算委員会では、ひきこもりや 8050 問題など困難を抱える世帯が見えにくい、窓口につながらない状況が今後ますます顕在化してくるとの懸案を申し述べました。認知症や精神疾患などで悩みを抱える家庭も増えています。「助けてと言えない人」を救う体制整備が一步でも拡充されることが求められます。他市では、専従のひきこもり支援員やそのチームを配置するなど取り組みを進めています。ひきこもりの人が社会参加できるよう重層的支援体制整備の拡充にご尽力お願い申し上げます。

教育費、特に学校施設整備については、

限られた予算の中で選択と集中という考えは否定するものではありませんが整備が停滞していると感じます。混迷する社会にあって子どもたちの成長が市民の生きる希望や力になること間違いありません。その観点で申し上げますと、新たな学びを支える学校施設とともに地域の学校を軸にした地域作りを目指した、人のつながりを育む拠点となる学校施設整備に予算を掛けることを要望します。

次に、

街づくりについて申し上げます。

市街地整備事業の常盤平駅周辺まちづくり関係業務委託料が計

上され、令和9年度を目途に「常盤平地域の街づくり計画」の策定を目指しています。常盤平は昭和30年代の団地建設により松戸市の発展の礎を担ってきた住まい・商業・教育・文化の魅力ある地域です。これからの半世紀、市の発展に寄与する地域です。また、街づくりと学校教育が一体となって進めていかなければならない事情もあります。教育活動に影響を及ぼさないよう、一刻の猶予もないとの気概で前に進めるよう要望致します。

次に、

松戸駅周辺地域活性化については、各種事業予算が計上されておりますが、市役所庁舎の現地建て替えの方針が示されたところでもあり、「松戸駅周辺街づくり基本構想」を軸としながらも、民間商業施設の更新時期やJR松戸駅ビルの開業も間近に迫っているなどの周辺環境が大きく変貌しようとしています。そのような意味からも、松戸駅周辺の街づくり全体像をどうしていくのか市民や市議会とも共有・議論する必要があると考えます。スピード感も大切ですが、ここはしっかりとした計画の練り直しや市民の理解を進めるべきです。共々に同じ方向を向けるようにご尽力をお願いします。そして、松戸駅周辺活性化にも関連する市役所庁舎の仮移転に関するのですが、駅周辺に各部署が分散することから、それぞれの地域が活性化するために地域の声を大切に連携を深めてください。委員会でも申し上げましたが、引っ越しや庁舎の面積に関わる大量の文書管理、整理について、ペーパーレス化、デジタル化などを進めていかなくはなりません。しかし、急激に進めると思いもしない禍根を残すこともあるかもしれません。例えば、公共施設の図面など紙で保存する方が適切な場合も考えられます。短期的な効果、効率化を追求するあまり、誤廃棄や将来の対応に影響を及ぼさないよう検討すべきと考えます。そこも含めて、責任者を明確にして事故がないよう、市民生活に影響を与えないよう進めていただきたいと思えます。

次に、

防災・減災対策についてであります。近年、自然災害は激甚化・頻発化しており、市民の生命と財産を守る備えは最優先課題であります。本予算における防災体制の強化やインフラ整備の推進は重要な前進であり、引き続き実効性ある対策を着実に進めていくことを求めます。

次に、

企業会計予算の令和8年度病院事業会計予算案について申し述べます。

昨今の原材料費や諸経費の値上がりに伴う人件費の急激な上昇など病院経営を取り巻く状況は厳しいものがあります。しかしながら、経営再建プロジェクトチームにおいて策定される実現性の高い経営計画を実行していくことによる収益の向上が期待されます。人件費の抑制など大変に厳しい策も実施されるなかではありますが、病院が一丸となって同じ方向を向くことが大切です。職員全体のモ

チベーションアップする仕組みを期待します。そして、何より、小児・周産期、三次救急をはじめとした地域に必要な医療を守るため持続的・安定的な経営をよろしくお願い申し上げます。

今の最重要の課題は、長引く物価高騰への継続的かつ機動的な対応であります。各事業の優先順位の一層の明確化、さらには持続可能な財政運営の確立については、今後も不断の見直しと改善が求められます。限られた財源の中で、真に必要な施策へ重点的に配分していく視点が不可欠であります。

本市を取り巻く環境はやエネルギー価格の上昇、さらには少子高齢化の進行などにより、市民生活の不安が一層高まっております。とりわけ子育て世帯や高齢者世帯においては、日々の暮らしへの影響が深刻であり、行政の役割はこれまで以上に重要となっております。

公明党はこれまでも“現場主義”を貫き、市民一人ひとりの声に耳を傾けながら政策提言を行ってまいりました。今後も、誰一人取り残さない社会の実現に向け、市民に寄り添った施策のさらなる充実を強く求めてまいります。

以上、令和8年度の予算案については、市民生活を支え、将来への希望につながるものと評価し、公明党として賛成するものであります。

最後に、市長並びに執行部に対して市営運営について一言申し上げます。市長は就任以降から市民との対話、タウンミーティングの実施しておられます。市民の声を直接聴くことでは、政策をつくりあげる上で重要であります。今後も声を聞く様々な声を聞く姿勢を続けていただければと存じます。その上で、今後も特に身近に接することが少ない若い世代、Z世代など将来を担う青少年の思いを政策に反映していただけるのではないかと期待申し上げます。

繰り返しになりますが、今の社会状況は先の見通せない社会であります。市長におかれましては、この混迷する世界情勢の中で広く多様な民意な市民のニーズや民意をくみ取っていただくことを続けてください。今後も松戸市民のため、柔軟でしなやかな感性でより良い市政運営をお願い申し上げます。

以上を申し上げ、本定例会に上程された一般会計から各特別会計、各企業会計のすべての予算案について妥当であると判断し、会派を代表しての賛成討論と致します。ありがとうございました。